**第６６回　四国高等学校柔道選手権大会要項**

**主** **催** 四国高等学校体育連盟・高知県教育委員会・四国柔道連盟

**後** **援** (財)高知県体育協会・南国市教育委員会・南国市体育協会

**主** **管** 高知県高等学校体育連盟・高知県柔道協会

**１** **期** **日** 平成２９年６月１７日(土)・１８日(日)

(1)　開会式　　　６月１７日（土）９：００

(2)　競　技 ６月１７日（土）９：１５　男子団体・女子団体試合

６月１８日（日）９：００　男子個人・女子個人試合

**２** **会** **場** 南国市立スポーツセンター

〒783-0094　高知県南国市前浜１３４４－３

TEL(088)865-8015 　FAX(088)865-8016

**３** **競技種目** 男子団体・男子個人(60kg･66kg･73kg･81kg･90kg･100kg･100kg超)７階級

女子団体・女子個人( 48kg･52kg･57kg･63kg･70kg･78kg･78kg超 )７階級

**４** **競技規則**

　　　　　 　(1) 国際柔道連盟試合審判規定(2017-2020)による。但し、申し合わせ事項を含む。

(2)　｢優勢勝ち｣の判定基準（平成２９年度全国高等学校総合体育大会要項に準ずる）

　　　　　　　 ① 団体試合は、「技有」又は「僅差（指導差２）」以上とする。「技の内容」と

「僅差」の重みは次の項目の順とする。　※一本勝ち＝反則勝＞技有＞僅差

② 個人試合は、「技有」以上とする。技による評価が同等の場合は、延長戦（ゴー

ルデンスコア）により勝敗を決する。

③ 試合時間は、男女に関わらず、団体・個人試合とも４分とする。

**５** **競技方法**

　　〔男子の部〕

(1) 団体試合（点取り試合）

　　　　ア 予選リーグ

① 参加１６チームを４グループに分けてリーグ戦を行い、各グループ第１位の

チームが決勝トーナメントに進出する。

② 組み合わせは次のようにし、各チームとも他県のチームと対戦するようにする。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 第　１　位 | 第　２　位 | 第　３　位 | 第　４　位 |
| Ａ 組 | ａ | ｂ | ｄ | ｃ |
| Ｂ 組 | ｃ | ｄ | ｂ | ａ |
| Ｃ 組 | ｂ | ｃ | ａ | ｄ |
| Ｄ 組 | ｄ | ａ | ｃ | ｂ |

※ａｂｃｄがどの県になるかは抽選による。

③ 順位は次の基準によって決定する。

(a)　勝ち数（チーム単位）の多いチームを上位とする。

　　　　　　　　　 (b)　負け数（チーム単位）の少ないチームを上位とする。

(c)　(b)で同等の場合は、リーグ戦を通じての勝ち数（個人単位）の多いチーム を上位とする。

(d)　(c)で同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを上位とする。

(e)　(d)で同等の場合は、「技有」による勝ち数の多いチームを上位とする。

　　　 　 (f)　(e)で同等の場合は、リーグ戦を通じて負け数の少ないチームを上位とする｡

　　　　 (g)　(f)で同等の場合は、「一本」による負け数の少ないチームを上位とする。

(h)　(g)で同等の場合は、「技有」による負け数の少ないチームを上位とする。

(i)　(h)で同等の場合は、 任意の選手による代表戦を１回のみ行う。正規の試合時間内にスコアが同等の場合、時間無制限の延長戦（ゴールデンスコア）を行う。（代表戦の方法は、イ 決勝トーナメントの②と同様とする）

　　　　イ 決勝トーナメント

① 準決勝に同県から３チーム以上進出してきた場合は組み合わせ通り試合をする

が、同ゾーンに同県の２チームが進出してきた場合、同ゾーンにおいて抽選し、

各チームを他のゾーンに移して、同県チームとの対戦を避ける。

② チームの内容が同等の場合は、任意の選手による代表戦を行う。ただし、代表戦

　　　　　　　　　　は、本戦と同等のルールとし、得点差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）

　　　　　　　　　　により勝敗を決する。（平成２８年度３月全国委員会申し合わせ事項による）

　　　　 ウ その他

① 試合は５名で行う。

② 試合ごとのオーダー変更を認める。

(2) 個人試合

　　　　 ア 体重別試合とする。

　　　　 イ　トーナメント方式で実施する。（単純敗者復活方式）

　　　　 ウ　選手の変更は選手変更届（選手の所属する学校長印が必要）を監督会議の際に 提出し変更すること。なお、選手が前日の団体試合で負傷するなどし、出場不可能になった場合は、個人試合当日の８時５０分まで受け付ける。選手はその県の 団体試合出場校より補充する。団体試合出場校は、氏名を空欄にした選手変更届を準備すること。

〔女子の部〕

(1) 団体試合（点取り試合）

　　　　 ア 予選リーグ

① 参加８チームを２グループに分けてリーグ戦を行い、各グループ第１位・２位

のチームが決勝トーナメントに進出する。

組み合わせは次のようにし、各チームとも他県と対戦するようにする。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 第 １ 位 | 第 ２ 位 | 第 １ 位 | 第 ２ 位 |
| １　　　組 | ａ１ | ｂ２ | ｃ１ | ｄ２ |
| ２ 組 | ｂ１ | ａ２ | ｄ１ | ｃ２ |

② 判定基準及び順位は男子に準じる。

　　　　 イ 決勝トーナメント

① 準決勝は組み合わせ通り試合する｡(同県対戦の場合も他のゾーンに移さない)

② 男子団体試合と同様に行う。

　　　　 ウ その他

① 試合は３名で行う。

② 試合ごとのオーダー変更を認める。

(2)　個人試合

　　　　 ア　男子個人試合と同様とする。

**６** **参加資格** (1) 選手は、学校教育法第１条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む） に在籍する生徒であること｡但し、休学中、留学中の生徒を除く。

(2) 選手は、各県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、当該競技実施要項により、 四国大会参加の資格を得たものに限る。

(3)　平成２９年度、各県柔道連盟(協会)を経て、全日本柔道連盟に登録を完了した者。

(4) 年齢は、平成１０(1998)年４月２日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技３回までとし、同一学年での出場は１回限りとする。

(5) チーム編成において、全日制課程･定時制課程･通信制課程による混成は認めない。

(6) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を 認める。

(7) 転校後６ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる）ただし、 一家転住等の理由によりやむを得ない場合は、各県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。

(8) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する高 等学校体育連盟会長の承認を必要とする。

(9) 参加資格の特例

① 前記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満た

すと判断され、各県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める

規定に従い大会参加を認める。

② 前記(4)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出

場は、 同一競技３回までとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

１ 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、各県高等学校体　　　　　　　　　育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。

２ 以下の条件を具備すること。

(1) 大会参加資格を認める条件

ア 四国高等学校体育連盟の活動の目的を理解し、それを尊重すること。

イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっ　　　　　　　　　　　ては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。

ウ 各学校にあっては、各県高等学校体育連盟の予選会から出場を認められ、四　　 国大会への出場条件が満たされていること。

エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある 顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失していず、運営が適切であること。

(2) 大会参加に際して守るべき条件

ア 四国高等学校選手権大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会申し合わせ 事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生 に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

**７** **引率･監督** (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校 長の認める学校の職員とする。

(2) 監督は校長の認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険 (スポーツ安全保険)等に必ず加入することを条件とする。

(3) 但し、上記(1)(2)について各県における規定が定められ、引率・監督者がこの 基準より限定された範囲内であれば、その規定に従うことを原則とする。

**８** **参加制限**

〔男子の部〕

(1) 団体試合は各県４チームとする。チームは監督１名、選手６名(３名以上で出場可)で構成する。

(2) 個人試合は各県体重別各階級４名で編成する。但し、体重別に１６名にするために開催県で補充することができる。

(3) 外国人留学生は卒業を目的として入学していることとし、短期留学は認めない。 　チーム人員は１名以内とする。個人試合については人数の制限は設けない。

〔女子の部〕

(1) 団体試合は各県２チームとする。チームは監督１名、選手４名(２名以上で出場可)で構成する。

(2) 個人試合は各県体重別各階級２名で編成する。但し、体重別に８名にするために開催県で補充することができる。

(3) 外国人留学生の規定は男子と同様とする。

**９　参加申込** (1) 参加校は、所定の申込書を２部作成し、１部は下記(2)のアへ直接、あと１部は各県専門委員長がとりまとめて下記(2)のイ所属高体連事務局へ送付すること。また、参加校は申込書の電子データを(2)のアまでメール送信も行うこと。個人試合の申し込みも同様とするが、各県専門委員長は当該県の個人試合出場者　　　　　　　　　一覧の電子データを作成して(2)のアまでメール送信すること。

(2) ア 申込先

　　　〒７８０－０８４２ 高知県高知市追手筋２－２－１０

高知県立高知追手前高等学校内　大塚　純哉 宛

TEL(０８８）８７３－６１４１　　 FAX(０８８)８７３－９７４８

　　　　　　　　　　　 E-mail：jiyunya\_ootsuka@kt2.kochinet.ed.jp

　　　　　　イ　所属高体連事務局

※　緊急の場合はメールでも仮の申し込みを受け付けるが、必ず正式な参加申込書を 送付すること。但し、メールで申し込んだ場合は、申込時に電話で確認すること。

　　　　　　　　 また、出場選手名簿作成の都合により、メール添付にて主管県　大塚　純哉　に送信すること。

　　　　　　　　※　大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

(3) 申込期日 平成２９年６月９日（金）必着

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(4) 参加申し込み後の棄権

団体種目の申し込み後の参加取り消しは、直ちに開催県専門部に報告し、理由書を 校長より所属高体連会長宛に提出すること。なお、団体、個人とも納入した参加料の払い戻しはしない。

10**参** **加** **料**　(1) 団体 １チーム １５,０００円

(2) 個人 １人当たり １,６００円

11**表** **彰**　(1) ３位までの入賞チーム並びに個人に表彰状を授与する。

(2) 優勝チームには大会要項に示された編成数の表彰状を授与する。

(3) 優勝した団体・個人にメダルを授与する。

12**宿** **泊** (1)　選手、監督及び大会役員の宿舎は、開催県の競技種目専門部が準備し配宿する。

　　　　　　　(2) 宿泊料は、１泊２食で７，８８４円(税込)とする。但し、弁当を申し込んだ場合は、弁当料金７００円（税込）を別途支払う。

(3) 宿泊申込は、所定の用紙に必要事項を２部記入し、１部は参加申込と同時に郵送で申込みをし、あと１部は、担当の旅行会社宛（別紙参照）に直接申込み（ＦＡＸ可）をすること。

(4) 申 込 先　参加申し込み(2)のア宛、及び、旅行会社宛に申し込むこと。

(5) 申込変更　申し込み後、日程・人員などの変更をする場合は、必ず業者及び宿舎 へ直接連絡すること。

13**諸** **会** **議** (1) 監督会議 ６月１６日（金）１６：００ 南国市立スポーツセンター２階会議室

　　　　　　　(2) 審判会議 ６月１７日（土） ８：３０ 南国市立スポーツセンター

６月１８日（日） ８：３０ 　　　〃

14**日** **程** ６月１６日（金）１０：００～１７：００ 　公式練習会場

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　南国市立スポーツセンター

　　　　　　　６月１７日（土） ８：００ 　 試合会場開場

　　　　　　　　　　　　　　　 ９：００～ 　開会式

　９：１５（開会式終了後）　競技開始（男子団体・女子団体試合）

６月１８日（日） ８：００ 試合会場開場

　　　　　　　　　　　　　　　　９：００～ 　競技開始（男子個人・女子個人試合）

１４：００（個人試合終了後）閉会式

15 **計　　量**個人試合の計量は次の日時、場所で行い、計量に合格しない者は出場できない。

日　　時　　６月１７日（土）１４：００～１５：００ （試合進行状況で、変更あり）

　　　　　　　場　　所　　南国市立スポーツセンター

　　　　　　　①　時間内であれば何回でも計量できるものとする。

　　　　　　　②　女子の計量はTシャツと柔道着ズボンで, +1kg未満までの超過を認める。

16 **連絡事項**

　　　　　　　①　選手変更は監督会議の際に受け付ける。

　　　　　　　②　競技中の疾病・傷害については、応急処置はするが、その他の責任は負わない。

③　脳しんとうの対応については，申し合わせによる。

　　　　　　　④　参加選手は健康保健証を持参すること。

　　　　　　　⑤　出場選手はゼッケンを各校（各個人）で用意し、柔道着の背面に縫いつけること。

　　　　　　　　　男子は黒字、女子は赤字。（サイズは横３０~３５ｃｍ、縦２５~３０ｃｍとする。）

　　　　　　　⑥　会場までの交通機関　ＪＲ後免駅下車、車にて約１５分